

● 特長

- 粘性が低く、扱いやすい液状の水酸化第二銅剤です。
- 各種病害に予防的散布で効果を示します。
- 水溶解度が高いためイオン化効率が高く、高い防除効果を発揮します。
- 有機JAS法にも適合し、使用回数の制限がありません。
(認証団体によっては見解が異なる場合があります。確認してからご使用ください)

● 特性

① 作物への汚れが少ない

果実や葉の汚れが少ない薬剤です。



クミガードSC500倍
散布当日

無処理

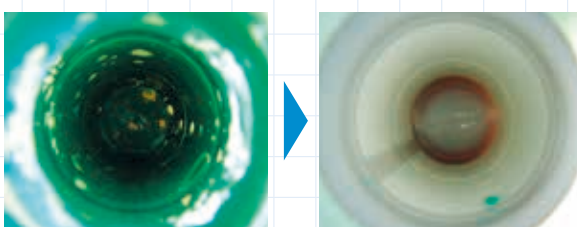


クミガードSC500倍+クミテン5000倍
散布当日

無処理

② 扱いやすい

ボトルからの排出性がよく、
取り扱いやすい液状の薬剤です。

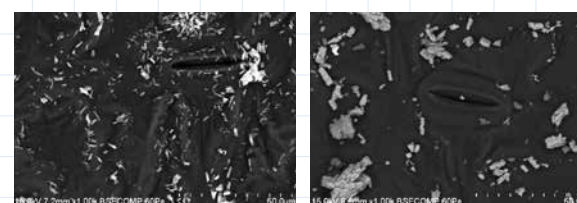


排出後

すすぎ後

③ 均一に付着する

粒子が作物に均一に付着することで、
安定した防除効果を発揮します。

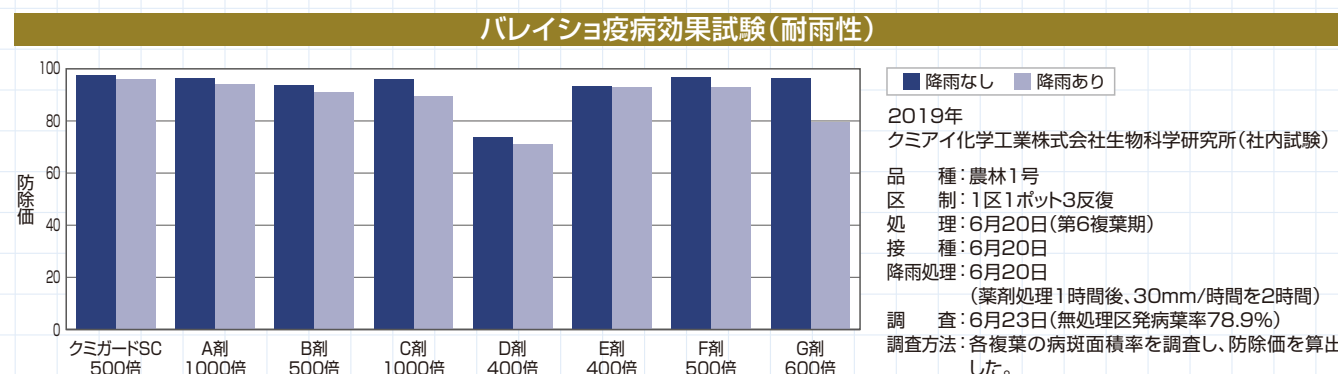


ばれいしよ葉面上における
クミガードSC粒子の形状

ばれいしよ葉面上における
A粒子の形状

④ 降雨時も安定した効果

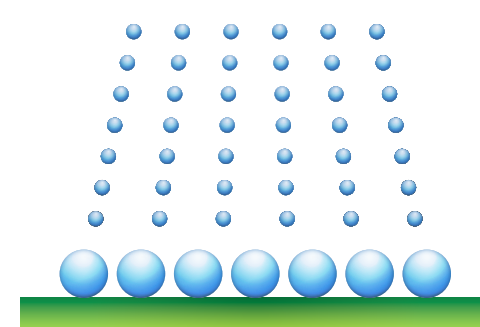
降雨による効果の低下が少なく、安定した効果を示します。



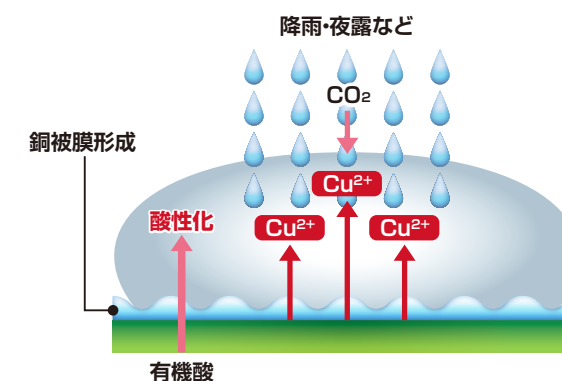
● 作用メカニズム

① 一般的な銅剤の作用メカニズム

STEP1 薬液が葉面に付着(散布)



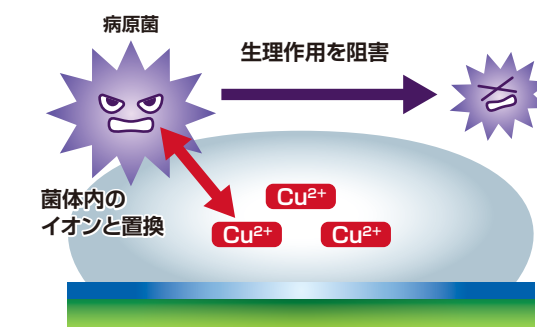
STEP2 銅イオンが水に溶出



銅剤は植物由来の有機物と複合体を形成し銅皮膜を作る。
銅皮膜からは効率よい銅イオンの放出が行なわれる。

STEP3 銅イオンが感染を防ぐ

銅がイオン化することで高い殺菌効果を示す

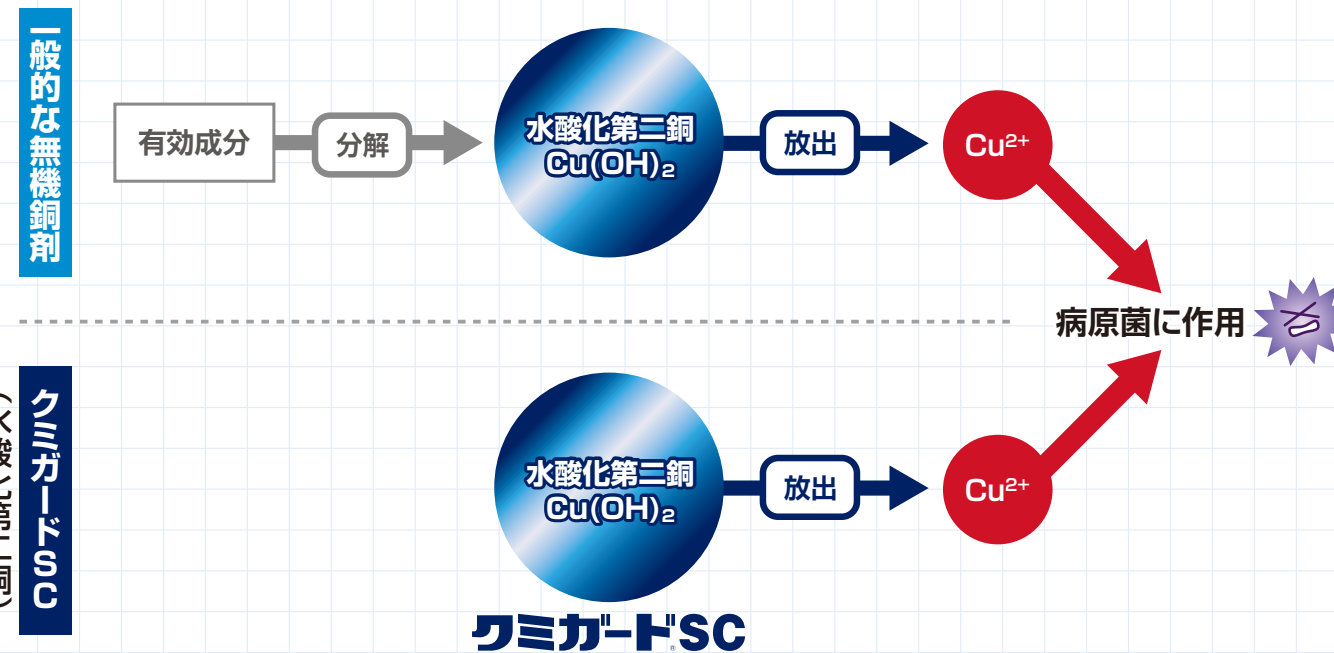


銅イオンが病原菌に浸透し、病原菌の菌体内にある生存に必要なイオンと置き換わり生理作用を阻害することで感染を防ぐ。

銅剤による病害防除効果は、
銅の含有量(付着量)、銅皮膜の形成量、銅の効率的なイオン化などに影響される。

クミガードSCは効率的な防除を可能とする最適な製剤となっています。

② 無機銅剤の銅イオン放出までの化学構造の変化

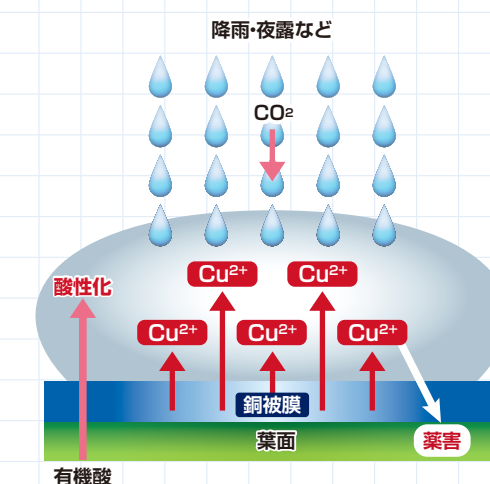


クミガードの有効成分である水酸化第二銅は
水溶解度が高く、直接銅イオンを放出する

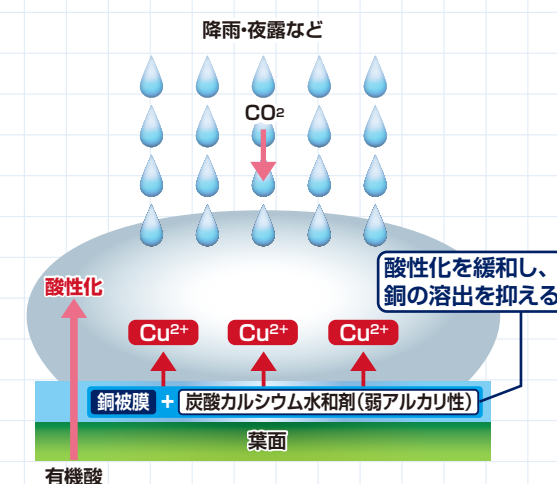
イオン化効率が良い

● 炭酸カルシウム水和剤による薬害軽減

薬害が起こりやすい条件



薬害が起こりやすい条件 (炭酸カルシウム水和剤加用)



酸性条件、高温多湿等により、銅イオンが必要以上に溶出することで薬害の発生リスクが高まります。
炭酸カルシウム水和剤は、酸性化を緩和することで銅イオンの溶出を抑え、薬害軽減効果を発揮します。